

委員会活動 報告書

防災委員会

事業名称	広島市竹屋公民館（高齢者）への防災教育		
実施時期	2021年12月13日（月）10：00～12：00		
実施場所	広島市竹屋公民館（広島市中区宝町3-15）		
参加人数	参加者：11名 技術士会防災委員会：福田直三、木村哲雄、 金原智樹、佛原肇、山下祐一 5名	CPD	
事業内容 と感想	<p>広島市内の公民館の防災教育は、当初9月13日(月)広瀬集会所、9月27日(月)竹屋集会所で計画していましたが、緊急事態宣言のため中止となり、12月13日に竹屋公民館だけで実施することとなりました。「みんなで考えよう災害時の行動（再発する大規模災害への備え）」という題目で、公民館で募集していただき、11名の住民が参加されました。防災教育の内容の次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近の災害概要、災害の特徴（土砂災害・洪水について） 山下祐一、木村哲雄 2. 警戒・避難について（ハザードマップ作成） 福田直三、金原智樹、佛原肇 3. まとめ <ol style="list-style-type: none"> 1. では、令和3年に発生した災害（7/6の熱海土石流災害、8/14広島市内土砂災害と災害ボランティア支援）と最近の土砂災害・洪水災害を紹介しました。特に、明治27年と現在の広島市内の地形図の変化について木村さんが紹介し、広島市内の川の変遷、洪水対策の様子がわかり、参加者の関心も高かった。 2. の警戒避難は、雨の降り方、警戒レベルについて説明するとともに、広島市内の洪水ハザードマップを使った演習を行った。参加者はマンションに住んでいる方が多いものの、避難場所の確認をしていただくとともに、災害時の対応等について質問に回答するなど、避難の重要性を深めていただいた。 3. 今回、説明と演習の他に、質問を用意し、参加者の関心を高める工夫をしたことは、公民館の担当者からも評価いただいた。今後の教育にも生かしたい。 		
			
	竹屋公民館での防災教育の様子		